総合振興計画について

総合振興計画は、今後 10 年間のまちづくりの指針となるものであり、行政のすべての分野における施策の方針を掲げた長期計画です。

第 1 次計画は、旧町の効果的な施策を合わせた盛りだくさんの内容であったため、方向性がつかみにくいこと、また評価指標があいまいで十分な評価ができないという課題がありました。こうした点をふまえ、以下の 3 つの点を重視して策定しました。

市民の声を生かした市民にわかりやすい計画

社会経済情勢の変化に的確に対応する計画

個別計画との連携を強化し実効性を高めた計画

さらに、市民・各種団体・事業者・行政等が協力・連携した「協働によるまちづくりの推進」を図るとともに、ＰＤＣＡサイクルに基づく計画の進行管理を行います。そして異なる分野の施策を連携させることで相乗効果を生み出すため、「施策連携プロジェクト」を設定し、行政内部の連携のみならず、市民や関係機関・団体、事業者等とも連携し、協働による推進を図ります。

また、南丹市の人口は、2060 年には 18,000 人程度にまで減少することが予測されていることから、「南丹市定住促進アクションプラン」や「南丹市地域創生戦略」の取り組みに続き、本計画においても「定住促進」を重点テーマに掲げていきます。

総合振興計画とビジョンマップのかかわり

第 2 次南丹市総合振興計画では、まちづくりの基本方針ごとに基本施策を設定し、基本施策ごとに「10 年後のビジョン」「現状と課題」「目標指標」「施策の方向」「市民に期待する取り組み」「具体化する部門別計画」を記載しています。いわば南丹市に関わる幅広い分野を網羅する内容の計画となっています。

一方、ビジョンマップでは、市民のみなさんの感じる地域の課題を集め、市民のみなさんがこうあってほしいと考える 10 年後の南丹市のイメージを取りまとめています。いわば市民目線のビジョン・市民感覚の将来イメージを集めたものです。

幅広い分野を網羅する行政計画とともに、市民目線でできること、やってみたいことから始めていくビジョンを合わせて、南丹市の将来に向けた行政と市民の協働を進めていきます。

連絡先

南丹市　企画政策部　定住・企画戦略課

TEL 0771-68-0001（代表）　FAX 0771-63-0653

E-mail　kikaku@city.nantan.lg.jp

このマップができた流れ

1 キックオフワークショップ

2017 年 7 月 2 日

10 年後の暮らしをイメージしながら、10 年後の街お市役所職員がたいまうであるためにはどんなまちであってほしい、参加者それぞれの考えをビジョンを出し合いました。

そこで、総合振興計画とリンクしたかたち、市民目線からの「10 年後にこうなっていてほしい」「こんな暮らしを重ねたい」というみなさんの思い、願望・不・日常・異心の各地区でワークショップを重ねたかたちで 28 のビジョンにまとめました。各地区毎に各テーマ、さらに多くの方の意見を聞くことで、この 28 のビジョンが地域ごとの特徴をとらえるツールとなるように、このマップを作成しました。

2 ビジョンワークショップ

2017 年 7 月 13 日～24 日

南丹市の 10 年先の未来を見据えて作成の「やってみたい」を集める 6 回のワークショップ

10 年後の南丹市で暮らしを考えながら、地域の現状と課題、将来こんな地域になってほしいという思いを出し合いました。

この 6 回のワークショップで話し合った意見をもとに、28 のビジョンを整理していきました。

美山地区	3 回（7/13、7/17、7/20）
日吉地区	3 回（7/13、7/16、7/20）
園部地区	3 回（7/16、7/21、7/24）
八木地区	3 回（7/17、7/21、7/24）

3 ビジョンワーク編集会議

7 月のワークショップで意見をもとに整理した 28 のビジョンについて、すでに実施されている取り組みを出し合い、ビジョンの実現性を高めるためのアイデアを出し合いました。さらに取り組みを広げ、新しい取り組みを生み出すためのアイデアを出し合いました。

美山地区	（11/22）
八木地区	（11/20）
園部地区	（11/20）
日吉地区	（11/20）

4 ビジョンワークの完成

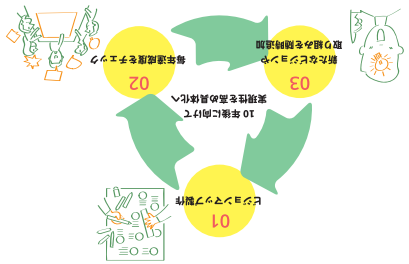
ビジョンマップ？？

南丹市は、市誕生から 10 年を過ぎ、平成 28 年度から 29 年度にかけて、この先 10 年間のまちづくりを数多くいただき、その中には「自治体の計画を多くの市民のみなさんに知ってもらうことが重要」という意見も多くいただきました。

そこで、総合振興計画とリンクしたかたち、市民目線からの「10 年後にこうなっていてほしい」「こんな暮らしを重ねたい」というみなさんの思い、願望・不・日常・異心の各地区でワークショップを重ねたかたちで 28 のビジョンにまとめました。各地区毎に各テーマ、さらに多くの方の意見をもとに、この 28 のビジョンが地域ごとの特徴をとらえるツールとなるように、このマップを作成しました。

このマップの使い方

このマップは、みなさんと出し合った意見を 28 のビジョンにまとめ、「森のビジョン」、「里のビジョン」、「街のビジョン」の三つに整理しています。



ビジョンマップは、ワークショップで話し合いの中から整理していくものです。参加されたみなさんの意見をもとに作成していきます。また実現性の高い政策やアイデアを集め、毎年に向けた取り組みを広げていきます。

市民が考えた南丹市のこれから MAP

第 2 次南丹市総合振興計画 付録

みんなで挑めば怖くない

解決していきたい地域のお悩み 36

市民の「やってみたい」を集めるワークショップの話し合いの中では、将来に向けて解決していきたい南丹市の課題も数多く出されました。市民目線で感じる南丹市の課題、将来に向けて解決した課題やもっと活用していきたい地域の資源を、「森」「里」「街」の 3 つの視点で整理しました。10 年後もみんなが生き生きと希望をもって暮らせるように、できることを持ち寄りましょう。

課題番号は、裏面のビジョンと対応しています。合わせてご覧ください。

全体の課題

協働のまちづくり　課題番号 全体

地域ごとに受け継がれてきた生活の知恵が、お互いに共有できていない。

地域ごとの歴史や文化の中で、自然との付き合い方、環境の生かし方などの知恵が受け継がれている。地域間の連携、情報共有が進めば、もっと充実した暮らしができるはず。

森の課題

移住定住　課題番号 森ー1

若者を中心に、人口減少が顕著。

若い世代がまちに流出し、人口減少とともに地域の次の世代を担う人材の確保が心配。子どもも減少している。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 森ー4

生活習慣病への配慮が少なく、健康面への不安が大きい。

山間部の暮らしで身体を動かしているつもりでも、車を使うことも多く、食生活への配慮が少なかったりするので、健康面での配慮が必要。

観光・産業振興　課題番号 森ー7

やりがい、生きがいとして農作業が続けていけるか不安。

集落や住まいの周りの風景をつくる家々の農業は大切。やりがい、生きがいにつながる農業を続けられるようにすることが必要。

教育　課題番号 森ー10

貴重な地域文化を受け継いでいけるか不安。

山間部独特の行事や祭礼、風習など、若い世代が流出している現状ではこれから継承していけるか不安が大きい。

移住定住　課題番号 森ー2

山のライフスタイルの新しさが知られていない。

先駆的な移住者の暮らしなど、大きな可能性があることが知られていない。大都市への移動が比較的しやすい点なども知られていない。

環境・景観　課題番号 森ー5

まちにはない地域ならではの恵みが生かされていない。

森や川など、豊かな自然環境の恵みをもっと知ってもらうとともに、生かしていくための新しい視点も必要。

安全・安心　課題番号 森ー8

ライフラインの寸断など、災害に対応できるか不安。

集中豪雨が近年増えており、特に限界集落ではライフラインが寸断された場合も想定した対策が必要。

教育　課題番号 森ー11

豊かな環境を生かした、子どもも大人も学べる機会を。

豊かな自然環境や農林業など、ここでしかできない貴重な学びの機会ができるはず。南丹市ならではの教育ができるように。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 森ー3

買い物や通院など、身近なところで用事を済ませられない。

身近な商店なども無くなり、車がなければ住み慣れた地域で暮らしていけない。交通機関も使いにくく、生活に不便が多い。

観光・産業振興　課題番号 森ー6

鳥獣被害が深刻化している。

農作物を荒らすシカ・イノシシの被害が深刻化しており、農林業を続けるのが困難なところもある。

安全・安心　課題番号 森ー9

荒れた森林が増え、土砂災害の危険性も増えた。

管理が行き届かず放置された森林も多く、土砂災害の危険性が高いところもある。若い世代の後継者がおらず、さらに不安は高まる。

教育　課題番号 森ー12

集落で暮らす子どもたちが少なくなった。

地域での暮らしを受け継ぐために、さらにまちから人を引き付ける魅力を高めるために、子どもが充実した教育を受けられる環境づくりが必要。

里の課題

移住定住　課題番号 里ー1

Uターンやエターン、地域に住む若い世代がまだ少ない。

人口減少が進み、集落の存続が不安。若い世代が地域の暮らしになじみ、根付いてくれるようになってほしい。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 里ー4

便利なものに頼りがちで、運動不足の人も多い。

生活の中で車を使うことも多く、ついつい車に頼りがちになる。食生活も偏りがちな人も多く、生活習慣病対策が必要。

安全・安心　課題番号 里ー7

子どもたちが少なくなり、地域の担い手不足が心配。

地域で暮らす子どもたちも減り、地域の行事もめっきり減った。将来を担う子どもたちが少なくなり、地域の将来が不安。

協働のまちづくり　課題番号 里ー10

人口減少が進み、地域活動の継続が難しい。

高齢化と人口減少が進み、一人ひとりの負担が増加しており、地域活動を続けていくことが難しくなっている。

移住定住　課題番号 里ー2

若者が生計を立てられる仕事が少ない。

移住して定住してもらうには、収入を得るための仕事が必要。しかし若い世代が生計を立てられるような仕事が地域に見当たらない。

環境・景観　課題番号 里ー5

美しい自然、名所旧跡もあるが知名度が低い。

地域ならではの資源はあるが、知名度が低く、活性化に生かし切れていない。これから向けて、資源を生かす新しい視点が必要。

教育　課題番号 里ー8

地域の世代間、そして同世代でもお互いのつながりが薄い。

地域の外で仕事をする人も多く、また人が集まる場所・機会も少なくなり、世代間だけでなく同世代でもお互いのつながりが薄れてきている。

協働のまちづくり　課題番号 里ー11

使われなくなった公共施設の有効活用を。

人口減少などで廃校になった小学校など、使われなくなった施設を地域の活性化のために有効活用していきたい。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 里ー3

日々の暮らしに不自由される一人暮らしのお年寄りが増えた。

地域では一人暮らし高齢者が増え、車がないと買い物や通院など出かけることが難しい人も増えてきた。

観光・産業振興　課題番号 里ー6

暮らしを支える農業をもっと活性化させる。

地域の基幹産業である農業を生かすため、特産品のブランド化、地産地消を進めていくことが必要。休耕田対策、後継者・担い手の確保を。

教育　課題番号 里ー9

暮らしの文化がなくなってしまうかもしれない不安がある。

若い世代が流出し、地域の文化や暮らし方を学ぶ機会も少ないため、受け継いできた暮らしの文化が失われていくかもしれない。

街の課題

移住定住　課題番号 街ー1

若者を引き付ける魅力ある仕事が見当たらない。

ものづくりなどの産業、空き店舗など仕事づくりの種はあるが、若い世代が生活できるような仕事にまではつながっていない。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 街ー4

子どもも大人も、生活習慣病が心配。

運動不足や食生活の乱れなどが目立ってきた。子どもも大人も地域で健康に安心して暮らせるようなサポートも必要。

観光・産業振興　課題番号 街ー7

地場産品を買ってくれる地域の人がまだまだ少ない。

地域には良い野菜などの地場産品があるので、地域の人にもっと知ってもらい、お金が地域で回るようになってほしい。

教育　課題番号 街ー10

ライフスタイルも多様化し、地域住民相互のつながりが薄い。

ライフスタイルが多様化し、地域と密着した暮らしをする人が少なくなっている。お互いが出会う機会も少なく、地域住民相互のつながりが薄れてきている。

移住定住　課題番号 街ー2

子どもたちが遊ぶ声がめっきり少なくなった。

地域で遊ぶ子どもも減り、まちのにぎやかさが減ってしまった。暮らしのにぎわいと子どもを通じた地域のつながりが薄れ、まちの将来が不安。

観光・産業振興　課題番号 街ー5

まちなかのにぎわいが減り、空き店舗も増えた。

かつてはにぎわっていたまちなかも、さびれている。もっと新しい店も増えて、活気が出るようになってほしい。

安全・安心　課題番号 街ー8

災害など、もしもの時に近所で助け合えるか不安。

近隣のマンションなど、誰が住んでいるかわからないところも多く、隣近所で声掛けできる関係がなくなりつつある。

協働のまちづくり　課題番号 街ー11

若い世代の地域活動離れが進み、継続が難しい。

少子化や核家族化、若い世代の地域組織離れが進み、地域活動を続けていくことが難しくなっている。

子育て・保健・医療・福祉　課題番号 街ー3

一人暮らしの年寄り、地域とつながりがないと不安。

一人暮らし高齢者の中には、地域とつながりが薄い方もおられ、見守り活動や声掛けなどがさらに必要。

観光・産業振興　課題番号 街ー6

地場産業が低迷し、後継ぎも少ない。

農業や林業、ものづくりなど、地域に根付いた産業が低迷し、これからの存続も難しくなっている。

教育　課題番号 街ー9

地域への愛着が薄れ、まちの暮らしの文化が失われてしまう。

地域外からの転入者も多いが地域になじむ機会は少ない。地域への愛着が薄くなり、伝統やまちなか独自の暮らしが失われてしまう。

協働のまちづくり　課題番号 街ー12

せっかく公共施設が身近にあるのに、生かされていない。

コンサートができるホールなどの使用料が高くて地元では使えない。もっと地域住民のニーズに合ったイベントなどをしてほしい。

NANTAN LIFE VISION MAP

市民が考えた南丹市のこれから

4つの地区でワークショップを重ねてまとめた 28 のビジョン。
★マークの達成度は、ビジョンを実現するためにすでに実施されている活動の多さを表しています。また、各ビジョンが解決しようとしている課題をかかわりが深い順に示し、関連すると思われる総合振興計画の施策についても示しました。

森

達成度 ☆☆★

山の新しい仕事・暮らし・製品をPRするショップを増やす

地域の自然環境など、良いものをいかに伝えていくか。現在進行形の山での暮らし、新しい動き、新しい魅力を伝えていくために、山のライフスタイルをトータルに伝えるショップを立ち上げ、発信拠点として山から都市部へと増やしていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－5	1－(5) 交流活動の推進
森－2	4－(1) 自然環境の保全
森－11	5－(1) 観光の振興

達成度 ☆☆★

地域ぐるみで子どもを育てる環境・つながりづくり

これからの時代、子どもたちの生きる力を育む子育て、教育がとても大切になります。子どもたちが安心して遊び、子どもどうしや大人との安心したつながりの中でのびのび成長していけるような、地域のつながりと山の環境を生かした子育て環境を整えます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－10	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
森－11	2－(3) 子育て支援の充実
森－12	3－(1) 家庭教育や幼児教育の充実

達成度 ☆☆★

公共施設を活用するアイデアが次々と生まれる

役所や公民館など、みんなが使える公共施設はたくさんあります。また、統廃合されたり学校など、役割を終えた施設もあります。みんなの税金でつくられたこれらの施設は、地域のひとが使わない手はありません。地域のひとが話し合って、うまい活用方法を見出すことをめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－10	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－8	1－(4) 協働のまちづくりの推進
里－11	8－(1) 行政サービスの向上

達成度 ☆☆★

徹底して森林の管理・利用ができている

森林の荒廃が進むと、地滑りや土石流などの防災面での不安が大きくなります。地域で受け継いできたせっかくの資源、小回りの利く伐採や搬出のロボットなどを活用して定期的な間伐を進めることで、山災やさのことなどの林産物を色らせるとともに、エネルギーや建材などに間伐材を活用する地域にしていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－5	4－(1) 自然環境の保全
森－8	5－(4) 林業の振興
森－9	6－(1) 災害対策の充実

達成度 ☆☆★

地域で楽しく買い物ができる、地元のものも売っている便利な移動販売（物々交換）

山の中にはスーパーやコンビニがなく、食料品やちょっとした日常品を購入することが難しく、また、高齢者にとっては、まちまで車を運転していくことも困難です。暮らしやすい地域にしていくために、便利に買い物ができる移動販売を充実させたり、地元で仕入れたものを地元で販売します。季節によっては多く獲れすぎた野菜など、地元の人に安く分けるようなこともできる、売り手と買い手をつなぐ移動販売を増やしていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－5	2－(2) 地域福祉の推進
森－3	2－(4) 高齢者福祉の充実
森－7	5－(6) 商業の振興

達成度 ☆☆★

山間部ならではの手作りの田舎の暮らしを体験することができる

現代は、電気・水道・ガス・通信など、とても便利な暮らしになりました。一方で、一つひとつ自分の力でつくっていく、以前の大変な田舎の暮らしからの中から学ぶもの、感じるものも多くあります。これまでの暮らしの良さを改めて生かしていくような、大変なことを楽しむ発想を地域から伝える機会をつくっていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－1	1－(5) 交流活動の推進
森－7	3－(4) 伝統文化の継承
森－10	4－(1) 自然環境の保全

達成度 ☆☆★

若者が憧れるかっこいい山村生活がある

通勤電車や窮屈とした オフィス環境から解放され、自然とともに仕事をし、アウトドアで日々を過ごす、都市部にはない山村ならではの生活。こうした生活を体験してもらい、一人でも多くの人に飛び込んでさてもらうために、都市部の企業とタイアップしたモデルフォレスト・モデルファーム事業を広げていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－1	1－(5) 交流活動の推進
森－10	4－(1) 自然環境の保全
森－2	5－(1) 観光の振興

達成度 ☆☆★

山の豊富な資源を活用した健康づくり

南丹市には、芦生研究林をはじめとした、歩いて楽しいい山林道がたくさんあります。それらをつないだ観光トレッキングコースを整備します。これらの道を歩くことで、南丹市の豊かな自然環境や文化に触れることができるよう、活用を進めます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－5	3－(5) 生涯スポーツ環境の充実
森－4	4－(1) 自然環境の保全
森－11	5－(2) エコツーリズムの推進

達成度 ☆☆★

山間部ならではの濃密教育の場ができている

豊かな自然環境での体験を通じて、子どもたちが成長していく機会があればと望む方も多くおられます。他所では触れられない貴重な自然環境だけでなく、地域ならではの文化や自然との付き合い方、アウトドアの体験などを学べる新しい教育の場をつくっていきます。子どもだけでなく大人も、新しい体験を通じて自分自身を見直す機会を得られるような学びの場にしていきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
森－10	2－(3) 子育て支援の充実
森－11	3－(2) 学校教育の充実
森－12	5－(2) エコツーリズムの推進

達成度 ☆☆★

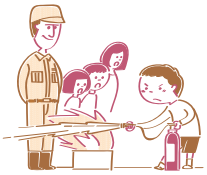
ALL 地域間の知恵を共有できるしくみがある

まちなか、里山、山間部、それぞれ暮らしの中で培ってきた知恵があります。お互いが持っている知恵を生かしあえるように、暮らし、文化などのさまざまな場面で共有していきます。

解決する課題
全体－1

総合振興計画の施策
1－(4) 協働のまちづくりの推進
1－(5) 交流活動の推進
7－(11) 情報通信基盤の充実

里



達成度 ☆☆★

災害に強い暮らし、災害に負けない地域に

近年、集中豪雨や土砂災害など、気候変動の影響と思われる災害も多くなっています。災害に備えて、災害の起こりやすい場所を知り、昔からの言い伝えなど地域の災害に関する知恵を学ぶとともに、子どもから大人まで災害が起こった時の対処をしっかり学び、地域のつながりを生かした防災力・災害時の対応力を高めることをめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－10	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－7	3－(4) 伝統文化の継承
里－9	6－(1) 災害対策の充実

達成度 ☆☆★

ちょっとした困りごとを解決する充実した近所づきあい

自治会の加入率が減る近年、地域ごとのつながりが希薄化してきています。ご近所同士や地域ではいつでもあいさつし合える関係で、高齢者のごみ出し や買い物など、日常生活を地域でケアしていけるような困りごとを地域で助け合いながら解決していける近所づきあいを構築していきます。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－10	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－3	2－(2) 地域福祉の推進

達成度 ☆☆★

みんなが自転車で走り回る地域に

自動車に頼ってしまう暮らしになった現代。一方で生活習慣病予防など、健康への配慮が求められてもいます。里の風景はサイクリングに適しており、地域の景観を生かしたサイクリングで人を呼び込むとともに、体を動かす機会づくり、そして自動車に頼らない省エネな暮らしにもつながります。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－5	1－(5) 交流活動の推進
里－4	3－(5) 生涯スポーツ環境の充実
里－8	5－(2) エコツーリズムの推進

達成度 ☆☆★

子どもから大人まで、気軽に集まり学べる場所がある地域に

好きな本を読めたり趣味の合う人が集まったり、里山や田園の広々とした風景の中でなら、なお充実した時間になるでしょう。まちなかにはない環境で、子どもの体験学習から大人の生涯学習まで、さまざまな世代が思いおもいに楽しく学べる場所がある地域をめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－8	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－9	1－(5) 交流活動の推進
里－5	3－(3) 生涯学習の推進

達成度 ☆☆★

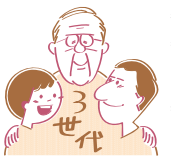
休みには外に出ている若者たちが友達を連れて帰ってくる地域に

大学への進学などを契機に、生まれ育った地域を出る若者たちも多くいます。若者が生まれ育った地域を出ていくことをチャンスにできるよう、地域に興りを持ち、地域を自慢できる若者を育てていく地域をめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－1	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－5	1－(5) 交流活動の推進
里－9	3－(6) 青少年の健全育成

達成度 ☆☆☆

子ども、孫と一緒に三世代で暮らす家族の多い地域に



核家族化が進み、地域とのつながりも薄くなりがちな現代。家族や近所づきあいがにぎやかに、何かあってもお互いに助け合うことができれば、安心して住み続けられます。子どもから お年寄りまで、にぎやかでお互いに助け合える地域をめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－1	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
里－3	2－(2) 地域福祉の推進
里－9	3－(1) 家庭教育や幼児教育の充実

達成度 ☆☆★

いくつかの仕事を組み合わせた、これまでにない働き方ができる

農業や林業では、季節に合わせた多種多様な作物の栽培・収穫、加工・販売などの仕事があります。また施設の管理や集落でのお互いの助け合いなど、仕事になりうる多くのニーズがあります。大きなもののシェアとお互いの得意なものを持ち寄り交換する暮らし、小さな仕事を組み合わせた里山・田園地域ならではの働き方を実現していきます。

解決する課題
里－6、里－1、里－2

総合振興計画の施策
1－(4) 協働のまちづくりの推進
4－(1) 自然環境の保全
5－(3) 農業の振興

達成度 ☆☆★

二地域居住で暮らす人が増え、まちと里山のつながりが深まる

まちと里山の両方に住む二地域居住を暮らす人が増えています。二地域居住する人と地元の人がつながる機会が増えることで、まちと里山で人や情報が行き来する地域をつくります。地域の良さを広く知ってもらい、まちと里山がつながることをめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
里－5	1－(4) 協働のまちづくりの推進
里－1	1－(5) 交流活動の推進
里－2	5－(2) エコツーリズムの推進

街

達成度 ☆☆★

地元野菜、地元産品をみんなで食べる、循環する地域に

安全・安心な食事、生活習慣病予防、そして地場産業の活性化のために、地域で生産されたものを地域で消費する、地産地消の動きが重要です。地域のみんなで地域の産品を楽しく食べられるような地産地消レストラン、地元の加工品やお酒も揃えた飲み屋など地域ぐるみで地場産業を応援する地域をめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
街－4	2－(1) 健康づくりの推進
街－9	5－(3) 農業の振興
街－10	5－(6) 商業の振興

達成度 ☆☆★

空き家・空き店舗活用型シェアハウスがたくさんある

まちなかには空き家、空き店舗が増えています。しかし、まちなかの役割を見直すことでいろんな活用方法が考えられます。空き家、空き店舗などの古民家をシェアハウスにしたり、一人暮らしの高齢者宅に学生が住み込んだり、学生や若い人たちが活用することをめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
街－5	1－(4) 協働のまちづくりの推進
街－1	1－(5) 交流活動の推進
街－10	7－(2) 市街地の充実

達成度 ☆☆★

小さな工房が集積する‘ものづくり’のまちに

地域で受け継がれてきたものづくりの技術。後継者不足などで厳しい状況が続いています。工芸・建築・農業など、地域のさまざまな技術を受けつで若い世代を増やし、地域において自分たちができることは自分たちで行う活動を広げていきます。技術の継承とともに多様な技術の担い手がつながり、地域の困りごとを解決していく地域の仕事を生み出すことをめざします。

解決する課題
街－6、街－1、街－7

総合振興計画の施策
1－(4) 協働のまちづくりの推進
1－(5) 交流活動の推進
5－(5) 工業の振興

達成度 ☆☆★

地元食材をつかったまちの宅食屋さんがある

日常的に地域で暮らす人が地元の野菜を食べられるように地元の野菜を中心とした料理教室や一人暮らしの高齢者も活用できるような地元の野菜を使った宅食屋さんなど、食を通して地域内循環を図っていきます。

解決する課題
街－7、街－3、街－10

総合振興計画の施策
1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
2－(1) 健康づくりの推進
2－(2) 地域福祉の推進

達成度 ☆☆★

子どもや高齢者が集まる、みんなの地域食堂がある

育児の孤立化や子どもの孤食、一人暮らし高齢者の増加など、地域にはみんながつながれる居場所が求められています。商店街の空き店舗などを活用し、地域に暮らす誰もが集まって一緒に食事ができ、気軽に話せる地域食堂をつくります。このような世代間の交流が一人ひとりの健康にもつながります。

解決する課題	総合振興計画の施策
街－3	1－(3) 地域コミュニティの活性化
街－2	2－(1) 健康づくりの推進
街－4	2－(2) 地域福祉の推進

達成度 ☆☆☆

地域の消防団を応援するしくみがある

地域の安全を守る消防団員のなり手不足や高齢化が進んでいます。一般的な器具訓練だけではなく、体験すると楽しい防災教室などを行い、消防団の活動を子どもたちから身近に感じる機会を増やし、活動自体にさまざまな楽しみをつくります。消防団員を地域ぐるみで応援するため、商店街などと連携して幅広いお店で割引などの優遇サービスを提供するなど、「消防団員応援制度」を創設することをめざします。

解決する課題	総合振興計画の施策
街－8	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
街－11	1－(4) 協働のまちづくりの推進
街－9	6－(4) 消防・救急体制の充実

達成度 ☆☆★

大人と子どもが話し合いながら運営していく学校

教育は親だけの問題ではありません。地域が一体になって子どもを育てていく時代です。古民家をリノベーションして、自由保育やフリースクールなど、学校教育以外にも大人と子どもが一緒に話し合いながら運営していくような多様な教育の場をつくります。

解決する課題	総合振興計画の施策
街－2	1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
街－11	2－(3) 子育て支援の充実
街－9	3－(1) 家庭教育や幼児教育の充実

達成度 ☆☆★

趣味で集まる、趣味でつながる、幅広い世代が交流できる地域

地域のつながりだけでなく、さまざまなきっかけでつながりを広げていくことで、より充実した暮らしにしていけます。それぞれの興味関心や趣味に応じて集まることで、より豊かなつながりを広げていくことができます。図書館や公民館などの拠点を生かし、多世代が幅広く交流ができる機会を増やします。

解決する課題
街－10、街－9、街－12

総合振興計画の施策
1－(4) 協働のまちづくりの推進
1－(5) 交流活動の推進

達成度 ☆☆★

どこに行っても挨拶される

地域のつながりが希薄になる現代。隣に住む人が困っていてもなかなか気づけないこともあります。これを解決するために日々のコミュニケーションを積極的にとっていける地域をめざします。

解決する課題
街－11、街－3、街－10

総合振興計画の施策
1－(3) 地域コミュニティ活動の活性化
2－(2) 地域福祉の推進